藤崎中学校

福祉体験学習を通して

藤崎町立藤崎中学校　一年
野呂　海斗

ぼくは、福祉体験学習に行く前、不安ばかりありました。それは、ぼくにはひいおばあちゃんがいて、亡くなる直前、悪態ばかりついてありがとうの一つも言えずにお別れをしたことです。ひいおばあちゃんが亡くなってから、一年が経ちました。友達が遊びに来ると必ずのように、おかしをたくさん出してくれます。友達に甘えん坊だと思われたくなくて、反抗的な態度をとったり、ひいおばあちゃんを傷付ける言葉を言っていました。甘えん坊だと思われたくなくてした行動が実は、ひいおばあちゃんに甘えていたんだと思い後悔しています。こんなぼくがお年寄りに優しくできるだろうか、と考えると、不安になってしまうからです。

体験学習の日、ぼくは、緊張していました。仕事がうまくできるだろうかと、お年寄りにしっかり対応できるかということがとても不安だったからです。

一日目、デイサービスセンターえびすとグループホームセンターえびすで活動しました。デイサー

ビスセンターでは昼食の準備をし、お年寄りの方といっしょに食事をしました。勇気を出して話しかけると、笑顔で応じてくれました。職員さんたちは、一つの仕事が終われば次の仕事へと休むひまもなく、毎日この仕事をやっている職員さんはすごいと思いました。午後はグループホームえびすで枝豆をはじめ作業をお年寄りといっしょにしました。

二日目は、グループホームえびすでおばあさんと新聞を折って箱を作りました。ぼくが箱を折っていると、おばあさんに「どうやって作るの。」と聞かれたので、ぼくは順序よくていねいに優しく教えることができました。すると、おばあさんは笑顔で「ありがとう。」と優しく言ってくれました。優しくていねいに対応すると、相手も優しく返してくれる人だなと、思いました。

二日間の福祉体験学習を振り返ってみると、まかされた仕事は自分としては責任を持ってできたと思います。職員さんからほめられ自

信を持つことができました。心配だったお年寄りへの対応も、まず相手の事を考えて対応することで、うまくできる人だなと思いました。

二日間の福祉体験学習を通して少し成長した自分に出会えた気がします。

そして今、ひいおばあちゃんにはなんにも恩返しすることができないけど、毎日いっしょに生活するぼくのおじいちゃんやおばあちゃんの立場になって、ていねいに接していこうと考えるようになりました。身近にいるお年寄りも大切にしていこうと思います。

そうする事がひいおばあちゃんへの恩返しになると思ったからです。

福祉体験学習から学んだこと

藤崎中学校　一年A組
相馬健太朗

ぼくはグループホームに福祉体験学習しに行きました。まずはじめに体験をしてみて思ったことは、ふとんのカバーをかえるのがとても難しかったことです。やる順番などを考えてやるのが難しいと感じました。それでも、何度かやるうちにうまくできるようになったためしかったです。次に思ったのは、仕事は大変だけでとても楽しく、やりがいのある仕事だという

ことです。お年寄りのかたちと話したり運動したりするのがとても楽しかったです。

そして体験学習を通して学んだことは、職員さんの方たちへの心配りです。例えば職員さんたちのお年寄りの方への話し方や聞き方などです。話し方については、お年寄りの方たちの話を真剣に聞いているので、お年寄りは話しやすいんだと思いました。

遠い方へのお年寄りの方たちとしながら話していたので、優しい心配りだと思いました。聞き方についてはは耳が大きさなど、調節を真剣に聞いているので、お年寄りは話しやすいんだと思いました。

すが専門の職員さんだと感じる

した。

あとは仕事のことです。一日の仕事の量が多くても、しっかりやってその日のうちに仕事をしっかり終わらせるのはとても難しいと思ったけど職員さんたちはてきぱき終わらせていたのはすごかったです。

ぼくは将来困っているお年寄りがいたら、思いやりをもって助けられるようなんになりたいです。今日学んだ職員さんたちのように言葉づかいに気をつけ、役に立てればいいなと思います。

ぼくにもおじいちゃんやおばあちゃんがもちろんいます。まだ若いちゃんがですがだんだん年をとってきます。福祉体験学習を終えて今まで育ててもらったから、ぼくもおばあちゃんやおじいちゃんに少しでも何かしてあげたいと思うようになりました。また、お年寄りの方も大変だということを知りました。

ぼくのまわりにはお年寄りの方がたくさんいます。福祉体験学習で学んだことをバにとめて、話をしたり、聞いたり接して、お互いに笑顔では活できる社会になればいいと思います。

福祉体験学習をして

藤崎中学校　一年　中村明日香

私は、グループホームノーブルの里ときわという施設に二日間、福祉体験学習に行きました。

一日目は、おやつや昼食の準備などをしました。おやつは、食べやすい物を選んでいたり、飲みものはそれぞれ飲むものを分けて作っていたりして、昼食の準備でも、料理を食べやすいように工夫していたり、お年寄りの方に合わせて、細かいことにでも気を配っていたので、とても感心しました。そして、おやつや昼食をおしゃべりしながら年寄りの方々と一緒に食べたり、話しかけたりしました。気さくに話しかけてくださったので私はあまり緊張することができました。一日目は、自分の仕事をもって働くことができました。職員の方々は、一つ一つ細かいことでも気遣っていて、笑顔でお年寄りの方と直接接していたので、すごいなと思いました。

二日目は、リネン交換やおやつの時間にお年寄りの方々と風船で遊んだり、お年寄りとリネン交換では、ベッドのシーツをしわ

ーツを替えたり、タオルを新しいものに替えたりしました。班の人と協力しながらできたので良かったです。職員の方のお話で、一週間に一度はリネン交換しているということやベットの上にあった例は、リネン交換が終わってから元通りに戻すということを聞いて、お年寄りの方に不自由のないように工夫されているんだなと思いました。おやつの時間にお年寄りの方に声かけをするときでは、お年寄りの方に聞こえるように大きな声で声をかけることができました。そして、お年寄りの方に靴を履かせて車いすに乗せ、車いすを押しました。押す速さはどうなのかなどとても不安だったけど、お年寄りの方に

「大丈夫ですか。」

と聞いたら、

「大丈夫。ありがとうね。」

と笑って言ってくださったので、安心して押すことができました。私は、福祉体験学習をする前に、「車いす体験」をして実際に車いすに乗ったり、押したりしていたので良かったと思いました。そして、お年寄りの方と班の皆で風船を使って遊びました。皆笑って

楽しんでいました。お年寄りの方々が笑顔で遊んでくれていたので良かったです。

福祉体験学習をして、働くことの大変さを知って、勉強になることがたくさんありました。職員の方は、お年寄りに対しての気遣いや優しさが一つ一つ細かい所までありり、笑顔で接していたので、私も自分のおじいちゃんやおばあちゃんにも気遣いをして、笑顔で話をしたいです。そして、家族にも優しく接して、近所の人達にも笑顔であいさつをしたりして、周りの人が少しでも明るい気持ちでいられるようにしたいです。私は、将来、福祉士になりたいと思っているので、今回の福祉体験学習で学んだ事を活かして、普段の生活から気遣いや優しさをもち、笑顔で接するようにがんばりたいです。

楽しんでいました。お年寄りの方々が笑顔で遊んでくれていたので良かったです。

福祉体験学習をして、働くことの大変さを知って、勉強になることがたくさんありました。職員の方は、お年寄りに対しての気遣いや優しさが一つ一つ細かい所までありで、笑顔で接していたので、私も自分のおじいちゃんやおばあちゃんにも気遣いをして、笑顔で話をしたいです。そして、家族にも優しく接して、近所の人達にも笑顔であいさつをしたりして、周りの人が少しでも明るい気持ちでいられるようにしたいです。私は、将来、福祉士になりたいと思っているので、今回の福祉体験学習で学んだ事を活かして、普段の生活から気遣いや優しさをもち、笑顔で接するようにがんばりたいです。

福祉体験学習で学んだこと

藤崎中学校　一年　菊池　栄美子

私達一年生は九月二十五日と二十六日の二日間、福祉体験学習をしました。私は私を入れての四人でテレサ苑という施設に行きました。

一日目の午前は、施設案内をしてもらい、おばあちゃんやおじいちゃんと新聞をたたんだり、話をしたりして終わりました。おばあちゃんやおじいちゃんとコミュニケーションをとるのは、難しいなと思いました。一時間の休けいのときに、もっと上手くコミュニケーションはとれないかと考えました。でも、答えは見つかりませんでした。午後は、話をしたり、施設のトイレそうじなどの軽作業をしました。

二日目は、散歩につれて行ってあげました。びっくりしたことは、九十九歳のおばあちゃんが元気に歩いていたことです。おばあちゃんがすごいなと思いました。

二日間体験しても、まだ、「働く」ということについて、はっきり分かりませんでした。でも、所長さんと話をして、介護をすること

との難しさを知りました。

帰るときは、おばあちゃん達が泣いていました。「ありがとう。」や「ずっと居てくれればいいのにな。」などの声が聞こえてきてうれしかったです。

学校についてから二日間を振り返りました。職員さん達やおばあちゃん達から学んだことがたくさんありました。まずは、言葉がけです。おばあちゃんの言葉に対してちょっと強く言っているんじゃないのかなと思ったけど、それも、職員さん達の優しさなのかなと感じました。

私には、八十八歳のおばあちゃんがいます。とても元気です。おばあちゃんは一人で歩けるけど、転んでしまうこともあります。ですから、私はできるだけ手を引っぱって、おばあちゃんが転ばないように心がけています。話をするときも、言葉遣いに気を付けています。テレサ苑の職員さん達から教わったように傷付けないように、優しくするようにしています。

私は、福祉体験学習でおばあちゃんと接していて、介護士の仕事をする人になりたいと思っていま

す。「介護士になって」分からなかったことを解決したいし、介護をすることについてもっと深く知りたいと思っています。介護士になるために、今の自分にできることは、普段からおばあちゃんとの接し方に気を付けることと、青森県は寿命が短いので、長生きしてもらうために、「給食の原こう」に体の健康について詳しく書いて、病気を予防してもらうようにすることです。

これから、もっと深く働くことについて知りたいと思っています。